

認定NPO法人ぱれっと 2019年度 事業報告書

1 はじめに

今年度は、昨年度に増して地域と向き合い、必要なニーズを拾い上げ、インクルーシブな社会をつくるための動きをさらに加速させるように取り組んできました。

重点取り組みとしては、昨年度打ち出した「ぱれっとイノベーション」をさらに強く位置付け、職員発想による事業展開を行っていきながら、魅力のある法人づくり、次世代のチーム力を強化した組織づくりをあげました。なかでも「竹プロジェクト」として取り組んだ就労継続支援B型事業の活動は、コンサルタントの力によるところも大きかったですが、広くメディアにも取り上げられ、障害＋地域課題の融合を新たな形として発信できたのではないかと思います。目指すところの魅力ある法人となるという目的にも少し携わることができたと感じています。

地域向け行事も、次世代幹部候補職員が中心となり取り組みました。日々の業務だけではなく、地域と繋がりを創ることをスタッフが理解し活動につなげることができたと感じています。

その他目標と達成状況については以下に記載します。

認定NPO法人としての定着化については、多くの方のご支援により図れています。地域への関係づくりは自治会やネットワークを通して深められましたが、企業との関係づくりは、まだ弱く次年度にはさらに取り組みを強化したいと思います。

共生型サービスを実践していくという目標は、介護保険デイサービスを軸とした生活介護の共生型を検討してきました。現状の進展としては場所として多機能型事業所との場所の住み分けができる状態にできました。次年度9月からの開始を目指します。

自閉症の方の支援を始め、スーパービジョンを取り入れた支援の充実を図る目標に対しては、スーパーバイザーを迎えコラージュのOJTを含めた支援を始めています。

その他一年を通し、人材の確保と定着を図るという目標は人材確保の点で達成できませんでしたが、人材育成については研修等を積極的に行い職員の質の向上を図る努力は続けてきました。また、移動支援従業者養成研修や行動援護従業者養成研修、西区社会福祉協議会からの依頼のボランティア講座のお手伝いなどを通し、福祉への関心を高める活動が行えたことや、権利擁護などの社会問題に対し提言できる機会も増えてきたことは実感しています。

その他、神戸市営住宅のグループホームを開設は消防法の問題から頓挫することになりましたが、継続して行動障害の方にも対応できるグループホームの開設に向け物件等を探しており、早期に開設がかなう様に進めていきたいと思っています。

平成から令和に代わり移り変わりを強く感じるときでしたが、ぱれっとにおいても次世代交代ビジョンをさらに鮮明にしてきました。その中でも大きな取組として今年度は第三者評価を受けました。現状の法人の実態を明らかにして、今後修正等を行い、地盤を整えながら次世代につないで行きたいと考えています。



2 特定非営利活動に係る事業

1) ヘルパーステーションコラージュ

※定款(1)6、10、13、14、21、

平成から令和へと歴史的な節目の年であった2019年度ですが、コラージュも一つの節目を迎えた年でした。平成26年にコラージュとして出発してからまだまだ『ぱれっと』の一片としての甘えのような気持ちがあったのですが、2020年1月に事務所を1階に移転し独立したことで、いよいよ自立心をもっていかなければと決意を新たにしました。

今年度も、2年前から人材確保の目的もあって始めたボランティアを募集しての釣り&バーベキューのイベントは第3回目として5月25日に開催しました。2回目に引き続き参加をしてくださるボランティアさんや大学のネット広報をみて参加される大学生のボランティアさんなど12名のボランティアさんの参加がありました。ヘルパーの人材確保にはなかなか繋がってはいませんが、啓発活動としては大きな功績があげれていると思います。また12月には第2回クリスマス会を開催しました。時期的にボランティアを集めるのが難しかったのですが、それでも2組のボランティアさんの出し物を利用者さん達と楽しむことが出来ました。会場には1回目と同様にこぐまクラブの喫茶エールをお借りしました。喫茶エールの方からも“とても楽しいクリスマス会で一緒に楽しませていただきました”との言葉をいただき、障害者支援の事業所間の繋がりを深めることもできたと思います。

ヘルパー研修は今年度から3回に増やし、第1回目は4月28日に虐待防止と認知症サポーターの研修、第2回目は9月22日には今年も兵庫県立大学名誉教授近澤範子先生に来ていただき『精神障害を持つ利用者への理解と対応～社会生活と就労への支援の視点から～』という内容で講義をしていただき、その後食事をしながら和気あいあいとした雰囲気の中お仕事の現状や悩みなどを話し合いました。第3回目は1月26日に介護の基本の振り返りの意味も含めて、障害福祉と介護保険の基礎のお話をした後、緊急事態の対応を事例検討しました。普段お仕事の中ではなかなか遭遇しない場面の事でそれぞれにいろんな意見がでて、とても白熱した研修になりました。研修を行うごとに、コラージュはベテランのヘルパーが多いうえにとっても勉強熱心なのでいつも支えられていると実感させられます。

残念だったことは、働き方改革によってサービス時間の取り方が難しくなり、ガイドヘルプに行けるところに制限が出てしまったことです。これについては、今後対策を考えていきたいと思っています。ただたとえ時間が短くて遠くに行けなくても、さすがコラージュと思ってもらえる支援が行えることを目指していかなければいけないとも思います。

コラージュイベント

令和元年5月25日(日) 魚釣り&バーベキュー大会



令和元年 12 月 21 日(土) クリスマス会

NPO 法人こぐまくらぶ エールさんにて



コラージュ利用者数

居宅介護 34 名 重度訪問介護 1 名 同行援護 4 名 行動援護 35 名
訪問介護 5 名 介護予防訪問介護 2 名 神戸市移動支援 55 名 明石市移動支援 11 名
淡路市移動支援 1 名 たすけあいサービス(法人独自有料事業) 12 名

合計 160 名

2)多機能型事業 地域支援事業所ぱれっと(就労継続 B 型事業 生活介護事業)

※定款(1)6

受注作業を軸とした活動を大事にしながらも、前年度からの継続でコンサルタントの力を借りての就労プロジェクトにも取り組んだ一年でした。プロジェクトでは地域の課題でもある放置竹林の整備と伐採した竹の活用を可能にすることを目的に取り組んできました。メディアの活用、クラウドファンディングの活用、地域行政との連携など幅広く活動を行っており、一定の成果につなげることができています。今後は、収益につなげ、工賃が向上するように取り組んでいきたいと考えています。

実施行事等

花見&バーベキュー	4 月 2 日
ボウリング	7 月 11 日
日帰り旅行	9 月 21 日
忘年会	12 月 28 日
土曜日開所	6 月 8 日、9 月 21 日、11 月 16 日、12 月 28 日、1 月 4 日
調理実習	11 月 16 日

就労&生活介護 家族会

7 月 4 日(木) 10:00~12:00 法人事業計画の説明 就労 生活介護事業説明等
11 月 7 日(木)10:00~12:00 映画「道草」からの重度訪問介護事業の説明 就労、生活介護事業の取り組みと説明
3 月 5 日(木)新型コロナウイルスの影響のため中止

作業関係

新規作業取り組み

下請け: かつことん株式会社 綿花関係の作業 (摘み取り、種取り等)

就労プロジェクト(竹プロジェクト)の取り組み



クラウドファンディング

9月20日～11月29日の期間で実施し、目標金額を達成。

たけのこ園オープンに向けての始動とリターン品の竹粉せっけんを発注。

東はりま県民局主催 ため池資源と東播磨の未来 参加プレゼンテーション

令和元年12月6日(金)

東はりま県民局より補助金をもらい、竹林整備による

環境保全と高付加価値製品の開発に取り組む。

必要備品の購入



令和2年1月30日 午前、淡路県民局より見学者

午後、西区区長以下、西区保健福祉部長等視察

令和2年2月～ 西区役所から竹林整備のトライアル作業

(神鉄 木津駅 ローター周)



メディア掲載

10月12日 朝日新聞掲載

11月24日 神戸新聞掲載

12月1日 サンテレビ放映

事業所紹介フェア (KOBE WESTNET 西区自立支援協議会 就労ネットワーク)

令和元年12月8日(日)

まるごと福祉フェア(明石 135E ネット)

令和元年7月13日(土)



多機能利用者数

就労継続支援B型事業 19名

生活介護(就労系)2名

3) デイサービス(地域密着型通所介護、介護予防通所介護)

※定款(1)14、16

日中の活動については(レクリエーション)、平成 31 年度は作品作りに力を入れた一年でした。毎年 3 月に実施されている西区のデイサービスが集まっての展示会への出品を目指し花火の絵やあじさいの絵など季節ごとに作品を作りました(新型コロナウイルスの影響で中止になりました)。



全員が参加しての作品作りは難しかったですが、7 割程度の利用者が参加されました。コロナウイルスの流行により展示会は中止になってしまいましたが、意欲的に参加された利用者が多く、来年度も継続して取り組んでいきたいと思えます。また内容も充実するように会議等で話し合い成果が伝わるように取り組んで行きたいと考えています。

その他の活動としては大きな変わりはなくテーブルゲームやウォーキングの他、個別の対応もできるだけ実施してきました。ストレッチの他、嚥下体操などを取り入れるなど健康面にも配慮してきました。体力低下が多くみられてきているため今後健康面により力をいれていく必要があると考えています。

大きな行事としては、4 月に日岡山公園に花見、7 月に麒麟ビール工場見学、8 月にデイフロアで納涼祭、10 月にコーヒー博物館へ外出をしています。また 12 月にデイフロアで忘年会を実施しました。

参加される利用者は 10 人程度で少なくはありましたが、実施後の聞き取りでは楽しかった、昼食が良かったなどと良い感想を頂いており、次年度も継続して取り組んでいきたいと考えています。

また、生活介護から介護保険への移行の役割も果たしました。制度が変わっても通所の環境は大きく変化しない状況を生み出すことができました。昨年度 1 名の方が移行され、今年度も 1 名の方が移行され利用をされています。

日帰り旅行

第 1 回 7 月 15 日(月) キリンビール工場



第 2 回 10 月 18 日(金) UCC コーヒー館他



デイサービスプロジェクト

7月9日 デイサービス事業所見学 ポポケセラセラ

デイサービス会議時に意見交換、グループワーク、などコンサルタントと取り組みました。

デイサービス利用者 地域密着型(要介護) 5名 介護予防通所介護(要支援) 4名
生活介護(余暇支援型) 4名

4)相談支援事業

特定相談支援 一般相談支援 障害児相談支援

※定款(1)8、9

特定相談支援事業については、制度が変わり4月より順次報酬単価減しモニタリングの回数が増えることになりましたが、変化に迅速に対応できるように対策してきました。加えて相談支援専門員が6月から採用になり経験者でもあったため、新規の対応を含め取り組むことができました。結果としては目標としてきた相談支援体制の充実、さらには他の事業所との連携を図ることができています。

また、新たにできた加算等を取るための努力を行ってきました。もとより訪問をしっかりと行ってきていたので、通常の活動で加算につながることも多くありました。

他には、要医療児者支援体制加算も研修を修了したためスタートしています。

一般相談支援事業については、地域移行を実施しました。件数は1件のみでしたが、その方は12年の入院生活に終止符を打ち、グループホームへの入居が確定しました。またこの件に関してはピアサポーターの方との連携にもなりました。

※この型の事例に関しては、神戸市の精神障害者地域移行の研修会にて関係者が登壇しての発表になりました。地域移行に関しては、さらに2件の受託があるため、次年度継続して取り組んで結果につなげていきたいと思っています。

5)グループホーム(共同生活援助)

※定款(1)6

日輪寺住宅(市営住宅)で予定をしていた2か所目のグループホームについては、消防法の関係で実施することができませんでした。しかしながら増やしていきたいという思いは継続しており情報を見ながら進めていきたいと考えています。

(グループホームほわいとの状態)

週1回、夕方にジムに寄ってトレーニングをしてからの帰宅は定着してきました。理容店へも付き添い、練習をし、一人で日中活動の帰りに行くことが出来るようになりました。

月1回の土曜日開所も定着きて、利用者の人数も増えてきました。

2月に和歌山方面への一泊旅行を実施しました。



アドベンチャーワールド



ステーキハウスでディナー

6) 移動支援従業者養成研修(ガイドヘルパー養成研修 (全身性 知的))兵庫県指定
※定款(1)2、3、10、24

令和元年 8 月 4 日(日)～ 8 月 18 日(日) 各課程 3 日間

知的障害者移動支援従業者養成研修修了者 12 名

全身性障害者移動支援従業者養成研修修了者 14 名



障害者の心理 講師 野橋氏

今回移動支援従業者養成研修は、当法人にヘルパーやボランティアで関わって頂ける方は資料代のみの設定で行いました。日頃ボランティア活動をされている方などトータルで 20 名近い方が参加いただき盛況に終わりました。数名の方が登録いただいたりして成果もありました。また講師でお話いただいた野橋氏が西区社会福祉協議会のボランティア講座に講師で招かれるようになるなど、次につながる話もありました。

行動援護従業者養成研修

令和元年 11 月 30 日(土)～12 月 8 日(日) 4 日間

研修修了者 31 名

今年度も「社会福祉法人あかりの家」の三原施設長を始め多くの講師の支援を得て行動援護従業者養成研修を開催しました。「知的障害の方の移動支援は行動援護で」をキャッチフレ

ーズにして、行動援護の事業所を増やす事、従業者を増やすことを目的開催しました。結果 31 名の方が終了をされました。行動援護従業者として働き始めることはもちろん、新規に行動援護事業を始める事業所(予定)は 4 か所と目標に向けて大きな成果を上げることができました。

今回申込が非常に高く、10 名ほどの皆様をお断りすることになりました。次回は早めに開催を決め継続して実施していきたいと思います。



講師 真砂園 天野施設長



講師 あかりの家 亀山部長

7) グループホーム設立・運営委員会

※定款(1)1、3、6

第1回グループホーム設立・運営委員会

令和元年6月9日(日)10:00～11:30

参加者 13名 ドライブ対応利用者3名

自己紹介

平成30年度の報告及び今年度の活動について

参加者 13名 ドライブ対応利用者3名



第1回グループホーム見学

社会福祉法人あかりの家 友愛の家

(見学対応 坊垣様)

令和元年7月29日(月)12:30～14:30

開設されたばかりの自閉症の方対応のグループホーム。
他に近隣にある同法人のグループホームをもう1か所見学
させていただいた。

参加者 委員会より8名 職員4名 計13名



第2回グループホーム設立・運営委員会

令和元年11月11日(日) 10:00～11:30

参加者 11名 ドライブ対応利用者 2名 職員 3名 計 16名

友愛の家の見学報告の他、法人におけるグループホームの取り組み状況について報告を行い、見交換を実施しました。

第2回グループホーム見学

クレストホーム様 建築物件(神戸市垂水区)日中活動支援型グループホーム

(見学対応 クレストホーム井上様)

令和2年1月27日(月) 10:30～11:30

間もなく開設される日中支援型のグループホーム。

定員 10名×2ホームの20名の物件。

参加者 委員会より9名 職員 3名 計 12名



第3回グループホーム設立・運営委員会

令和2年2月2日(日) 10:00～11:30

参加者 13名 ドライブ対応利用者 3名 職員 3名 計 19名

グループホームの形態について意見交換。

サービス包括型グループホーム 外部支援型グループホーム 日中活動支援型グループホームについてそれぞれの特徴などについて説明し話し合いました。

その他、個年度の活動の総括、次年度の活動について検討を行いました。

第3回グループホーム見学

令和2年2月14日(金) 10:15～11:00

参加者 9名 職員 1名 計 10名

セキスイハウス様から案内を受け見学させていただく。開設前の明石市大久保町に建設された6名定員グループホーム。家賃6万円×6人 計36万円を家主に支払うことになっているとのこと。リビングなど広くゆとりの感じられる設計になっていたとのこと。

8)その他の事業の実施

※定款(1)1 地域福祉に関する調査・研修・発表事業

(1)2 地域福祉の啓蒙・啓発活動事業

定款(1)の1, 2に該当する活動を直接的には実施できていませんが、移動支援従業者養成研修や講演等を通して地域福祉に関する、研修的な取り組みを実施してきました。また各事業を通して地域福祉に関する情報収集を図るとともに自治会活動を通して地域のニーズを確認しています。

9)未実施の事業

※定款(1)4、5、7、11、12、15、17、18、19、20、22、23

においては、令和元年度は機会が持てず実施できませんでした。

次年度以降の実施課題と準備していきます。

3 事業実施体制

(1)会議に関すること

①総会 令和元年6月16日(日)10:00～11:40

出席者 20名(委任状出席16名含) 役員10名出席 計30名出席

議事 平成30年度事業報告 令和元年度事業計画等

※総会後交流会(懇親会)を開催 役員・職員と利用者との親睦を深める 参加者25名

②理事会

○第1回 令和元年5月29日(水)18:30～20:30

出席者 11名

議事 平成30年度事業報告 令和元年度事業計画案他 総会に向けて

○臨時理事会 令和元年6月24日(月)18:30～19:30

出席者 8名

議事 多機能型事業(就労継続B型及び生活介護)の移転について

○第2回 令和元年9月18日(水)18:30～20:15

出席者 10名

議事 事業経過報告 グループホームの設立に向けて 特定処遇改善加算及び人事について他

○第3回 令和元年12月18日(水)18:30～

出席 13名

議事 事業中間報告

○第4回(予定) 令和2年3月4日(水)18:30～

コロナウィルス対策の為延期とする。

③職員全体会議

常勤職員(正規職員 契約職員)出席

第1回 6月29日(土) 9:00～9:45 各部署報告 事務連絡等

第2回 8月24日(土)紙面報告のみ 各部署報告 事務連絡等

第3回 11月9日(土) 10:00～10:30 事務連絡等

第4回 3月21日(土) 15:00～17:00 次年度の体制、事業計画の説明 事務処理の説明

④運営委員会

所長 事業長 事務長 課長等 出席

4月23日(火)9:30～12:20 5月14日(火)9:30～12:00 6月18日(火)9:30～12:00

7月16日(火)9:30～12:00 8月20日(火)10:00～12:45 9月17日(火)9:30～12:00
10月15日(火)9:30～12:00 11月19日(火)9:30～12:00 12月17日(火)9:30～12:00
1月21日(火)9:30～12:00 2月18日(火)9:30～12:00 3月17日(火)9:30～17:00

議事 各部署報告及び検討事項 運営方針・活動に係る検討、事業運営確認 その他研修等
2月18日については、介護労働安定センターを通し島田先生から、職能評価に関する管理者向け研修をしていただいた。

3月17日については、はりま福祉評価センター様から、第三者評価の結果報告を管理職が受けた。

⑤各事業会議

1)ヘルパーステーション コラージュ会議

管理者 サービス提供責任者 補佐

議題 事業内容 個別カンファレス等

4月28日 5月20日 6月21日 7月19日 8月23日 9月22日 10月24日
11月20日 12月20日 1月22日 2月19日 3月18日 計 12 回

2)就労会議

管理者 生活介護スタッフ

議題 事業内容 作業内容 個別カンファレス等

4月10日 5月8日 6月8日 7月10日 8月14日 9月11日 10月9日
11月16日 12月13日 1月15日 2月12日 3月11日 計 12 回

3)デイサービス会議

デイサービス 生活介護(余暇型)スタッフ

議題 事業内容 個別カンファレス等 (+ディプロジェクトに関する会議)

4月9日 5月7日 6月11日 7月9日 8月13日 9月10日 10月8日
11月12日 12月10日 1月21日 2月18日 3月10日 計 12 回

4)相談事業会議

相談支援専門員

議題 事業運営 情報交換

6月5日 その他随時引継等を行う。

5)グループホーム会議

管理者 サービス管理責任者 世話人

議事 グループホームほわいとにおける設備、備品等に関する事。業務に関する事。行事、利用者個別カンファレス等

4月10日 6月12日 8月14日 10月9日 12月11日 2月12日

計 6 回

(2) 研修に関する事

① 外部依頼(講師派遣)

障害ボランティア講座(西区社会福祉協議会) 10月30日 川田・利用者の方2名と参加
目の会研修 11月17日 65歳問題について 川田・ケアサポートピア小栗氏と講演
オールフリーの会主催「道草」上映会後のトークセッション 12月22日 小野市

② 職員全体研修

1) 第1回職員研修

令和元年6月29日(土曜日)

午前 10:00～12:00

第三者評価について

講師 はりま社会福祉評価センター 河原 正明氏



午後 13:00～15:00

防災研修「BCDについて」

講師 ゆめかぜ基金 事務局長 八幡氏



参加者 25 名

2) 第2回 職員全体研修

令和2年8月24日(土) 12:00～17:00

「道草」の上映会を開催。家族や一般にも声掛けを行った。

また、重度の知的障害者の生活に関する啓発として広く事業所等にも
発信を行った。

上映会の後 えんぴつの家 事務局長 山田たけし氏にご講演頂いた。

スタッフ 21 名参加 家族一般の参加 60 名 計 81 名





えんぴつの家 山田 たけし氏



3) 第3回職員全体研修

令和元年 11 月 9 日(土)

10:30～11:00 虐待防止研修 講師 川田

11:00～12:00 成年後見制度についての DVD 鑑賞

13:00～14:30 他職種を知る 多職種との連携を考える

「精神科病院ソーシャルワーカーの仕事と関係」

講師 医療法人実風会 新生病院 精神保健福祉科 主任 中本 泰輔 氏



新生病院 精神保健福祉士 中本氏

14:45～16:45 「成年後見制度について」

講師 後藤司法書士事務所 後藤 丈人 先生

成年後見制度については、利用者・家族にもお声掛けをした。

5 名の当事者家族の方が参加をされました。

参加スタッフ 22 名 家族 5 名参加



4) 第4回職員全体研修

令和 2 年 3 月 21 日

10:00～12:00 第三者評価の意義と活用について

講師 はりま社会福祉評価センター 河原 正明氏

5 月の第三者評価の事前研修に引き続き、評価を受けた後の報告及び今後についてのお話を講師の方にお話いただいた。

13:30～15:00 虐待防止研修 法人理事長が講師を務める。

評価シートを利用した現状確認、グループワークを通しての他者確認の作業から虐待を行わないための準備を行うことについて話し合った。

③ヘルパー研修

1) 第1回ヘルパー研修 令和元年4月28日(日)9:30～13:30

神戸市認知症研修(認知症サポーター養成講座) 講師: 西区キャラバンメイト 森脇 理恵氏



2) 第2回ヘルパー研修 令和元年10月21日(日)9:30～13:30

第1部 虐待防止・権利擁護研修

9:30～10:00 虐待防止に関する研修 「実態を知ろう・・・そこから私たちの行動を考えよう」

講師 川田理事長

10:00～12:00

「精神障害」を持つ利用者への理解と対応～社会生活と就労への支援の視点から～

講師 兵庫県立大学名誉教授 近澤先生



毎年恒例なってきた兵庫県立看護大学名誉教授の近澤先生にお越しいただいてのヘルパー研修。今回は精神障害の方の支援についてディカッション形式を含めたお話を頂いた。その後、第2部として昼食を食べながら日頃の活動などを共有する交流会を行った。 22名参加

3) 第3回ヘルパー研修

令和2年1月26日(日)9:00～12:00



障害福祉サービスと介護保険の制度の基本や仕組みについてを初心に戻って復習をした後、グループごとに緊急時の対応について事例検討を行い意見交換を行った。日頃携わっている業務によって違った意見も出て、いざという時の対応の準備に役立つ研修となった。 17名参加

④外部研修（研修名 主催 参加者数で記載）

脳血管障害の症状と対応 5月28日 西播磨総合リハビリテーションセンター 4名
支援者養成研修(精神障害) 5月28日 神戸市保健センター
相談支援専門員初任者研修 8月1日～10月4日 5日間 兵庫県 1名
感染症基礎講座 6月27日 神戸市保健所予防衛生課 1名
精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムづくり 神戸市 8月21日 10月16日 2名
軽減税率制度 事務見直し研修 明石納税協会 10月7日 1名
チェアヨガインストラクター養成講座 10月17日 日本福祉人材育成協会 1名
医療的ケア児支援者養成研修 10月15日 11月6日 社会福祉士会 1名
医療的ケア児等コーディネーター研修 12月20日 1月16日 社会福祉士会 1名
障害者就労賃向上セミナー 11月2日 やまぶき財団 2名
アンガーマネジメント研修 1月29日 神戸市民福祉大学 1名
チームアプローチ研修 1月28日 神戸市市民福祉大学 1名
アサーションを学ぶ 話す力 聴く力 2月21日 神戸市民福祉大学 1名

以後の研修については新型コロナウイルスの影響で中止になったため参加できず

⑤ネットワーク主催研修

第1回 玉津ケアマネジャー連絡会 令和元年7月18日 玉津安心すこやかセンター 1名
明石市自立支援協議会相談支援 事例検討会 毎月実施 相談支援専門員随時参加

⑥家族向け研修会

重度訪問介護について(就労 生活介護家族会時実施)
成年後見制度について 職員研修に合わせてご家族に案内 5名参加

(3)広報に関する事

ホームページ

川畑氏との契約を継続し、ホームページの管理や更新をしていただく。
令和2年度から大幅な改定を目指して取り組んでいただいている。

内容については毎月更新で法人での取り組みなどを掲載していただいた。

法人広報誌の発行 年4回

5月号 新年度の挨拶 就労事業取り組み 会員募集案内 等
8月号 就労事業 スタッフコメント集 コラージュ行事報告 総会報告 等

11月号 コラージュより(障害者マークの紹介) ふれあいフェスタの案内 等
1月号 デイサービス管理者より ふれあいフェスタ報告 等

デイサービス広報誌発行 毎月

月の誕生日利用者の紹介 月の予定 行事等の報告など

(4) ネットワークに関する事

1) KOBE WEST NET

代表 ハッピーカーニバル実行委員の役割を担う。

各種ネットワークや 研修行事等にも参加する(担当者制)。全スタッフ総合計で年間50回程度の会議や研修に参加した。

2) 明石 135E ネット

就労作業の関係もあり加盟を継続している。

ひなたぼっこコアメンバーとして参加(理事長)。

事業所紹介フェアなどに参加した。

3) 明石市自立支援協議会

各部会等で行われる研修会等に参加。主に相談支援事業所の連絡会、研修等に主に参加している。

4) 障害者問題を考える兵庫県連絡会(理事長 副理事長が個人会員で参加)

事業所職員交流会などに参加している。年4回程度。

5) 枝吉自治会 今津自治会

地域支援事業所ぱれっと グループホームほわいとの所在地域の自治会に加盟している。

枝吉自治会では賛助役員として役員会等で活動をしている。安全パトロールにも職員有志で参加している。

(5) 地域とのつながり

ふれあいフェスタを開催した。

自治会活動への参加以外に地域の方に参加いただける取り組みを実施した。前回は秋祭り、2回目の開催となる今回は「ふれあいフェスタ」と名付け実施した。前回同様の人数ではあったが、近所の子どもの参加もあり、盛り上がった。豚の丸焼きの他、食べ物や飲み物、ゲームなどを用意した。ステージ楽器演奏のFRAPさんの他、ギター演奏、マジックショーなどもボランティアさんに披露していただいて大いに盛り上がった。スタッフやヘルパーを含め100名程度の参加があった。

地域とのつながりも深くなってきている。今後も継続を行い、より地域に認められるようになるようにしっかりと取り組んでいきたい。



4 管理部門

(1) 労務管理

働き方改革より、勤務時間管理を各事業長が軸となり行う仕組みとした。時間管理のできる勤務表の導入をおこない、有給管理も実施していくように進めた。また、導入等に当たっては、介護労働経営安定センターの指導や支援をいただき実施した。それにより働き方改革に対応するよう努めた。

(2) 職能評価の導入

従来より働く上での目標作成や定期的な振り返りを行うため D-cup シートを行ってきたが、労務管理同様介護労働安定センターの指導や研修から職能評価の導入をおこなった。管理職が研修を受け評価者となり実施した。今後も職員の意欲向上や資質の向上を目指ししっかりと取り組んでいきたい。

(3) 車両

公用車、通勤車の管理について車両担当者を配置し取り組んでいる。それにより日常の混乱を招かないような仕組みができ、且つ車両を安心して利用することができています。

反省点としては、職員の細部まで意識が届いていないことが上がり、点検や清掃が職員によってはできていないなどあるので改善を図りたい。

- ・安全運転管理者 研修受講及び全職員への報告 安全協会からの広報誌等の回覧の実施
- ・整備管理者 点検、車両業者との連絡調整等の実施
- ・配車担当 通勤者 公用車の配車調整を行う。

(4) 防災

- 1) 点検 業者による点検が、就労・デイサービス 年 1 回 グループホームほわいと年 1 回
担当者による点検 月 1 回程度実施

- 1) 防災訓練

就労・デイサービス 11 月 6 日 消火 避難 通報訓練 1 月 17 日 避難(地震想定)
グループホームほわいと 11 月 5 日 消火 避難 通報訓練
3 月実施予定も新型コロナウイルスの影響で中止した。

(5) 組織体制(3 月 31 日現在)

- 1) 役員 理事 10 名 監事 1 名 計 11 名

- 2) 職員 正規職員 10 名 契約職員 3 名 非常勤職員 37 名 計 50 名

役員に変更は無し。職員は 2 名が契約社員から正規職員に昇格した。職員の採用が 1 名あった。
第三者委員が変更になった。眼の会の淵上氏にお願いした。